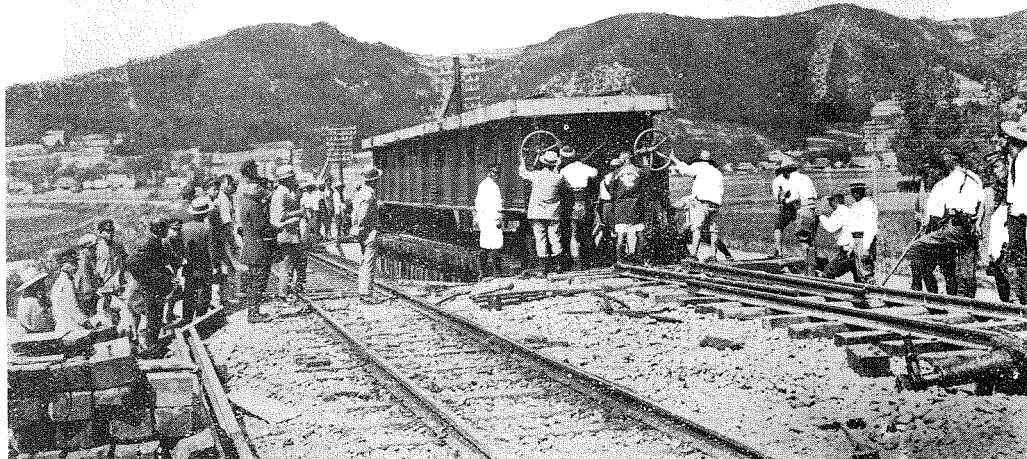


神戸鐵道局改良係の鉸桁架設工事

A 50 Ft. Plate Girder was Interchanged with the New in 40 Minutes by Use of Jacks.



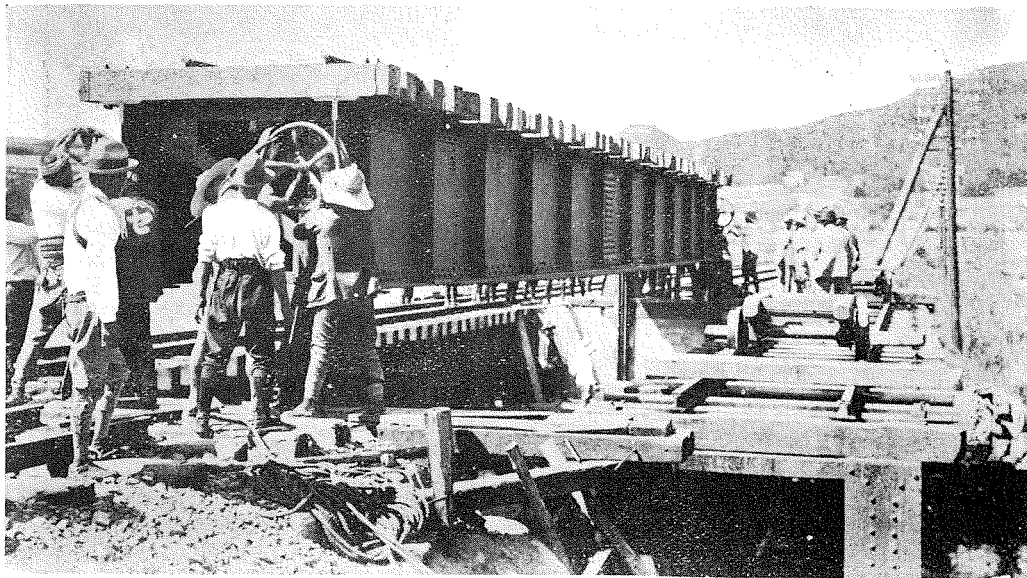
(1) 舊桁の上に新桁を運び込み、今やジャツキを取付けつゝある處  
(1) The New Girder being Placed on the Old One. The Jacks now set for work.

版桁橋架換工事の  
一新例

鐵道省の改良工事は、工事其物が迅速と完全を第一要件とする意味に於て、各地方の係々種々特長ある考案を實行しつゝある。此四枚の寫眞は最近の其一例である。山陽線笠岡、大門間の水溜川に架せられた徑間50呎の特種鉸桁を架換する爲めに一種のスクリュージヤツキを考案された。

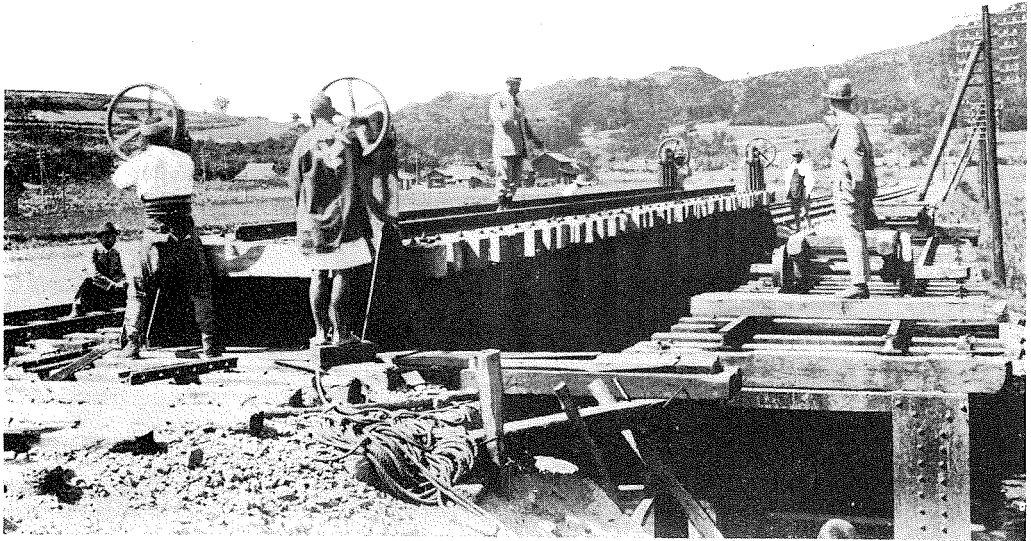
此の鉸桁ジャツキは徑間50呎から70呎迄のものに使用せらるゝもので同時に四隅に四臺を使用して容易に目的を達するものである。

神戸鐵道局改良係では之を鉸桁昇降器と稱してをる、普通ジャツキは壓力を受くるものであるが、直徑2吋の心棒がスクリュウとなつて張力を受け20噸迄働く様になつてをる。價格は一臺約500圓である。

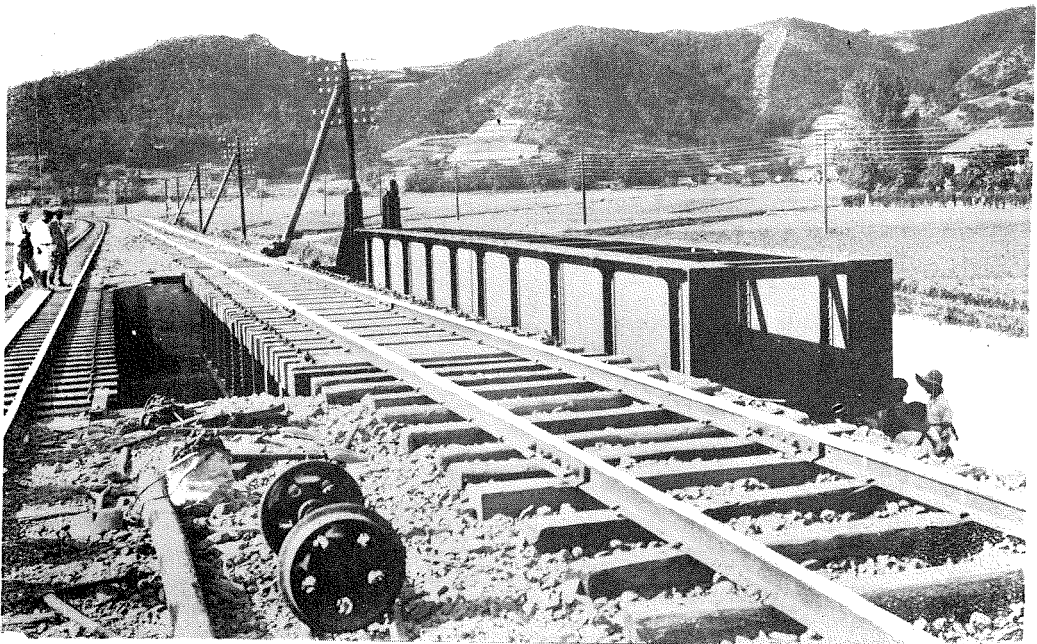


(2) 舊桁を横の足代上に抜取りて、新桁をジャツキにて下さんとする處  
(2) The Old Girder Removed On The Temporary Stand or Scaffold, the New Girder is to be Lowered in Place by Means of Jacks.

Work of Placing a Large Plate-Girder by the Improvement Department  
Kobe Government Railway Bureau.



(3) 張力ジャッキにて新桁架設中の景 (3) The New Girder is Nearly in its Place.



(4) 新桁架設を終り軌條敷設を完了したる處、舊桁取形付に着手したる處  
(4) The Girder being set in Place, the Rails being laid now, the Old Girder is to be put Away.